

平成27年度 事業報告

全体事項

28年3月、国会において社会福祉法改正案が成立し、いよいよ平成29年4月1日から社会福祉法人制度改革が実施されます。新しい社会福祉法人制度では、「公益性・非営利性の徹底」「ガバナンスの強化」「国民に対する説明責任」「積極的な情報開示」「地域社会への貢献」が求められます。特に、社会福祉法人が果たすべき役割である「多様な福祉ニーズへの対応」を積極的に取り組んでいく必要があります。

平成27年度は介護報酬マイナス改正を受け、介護保険事業の経営が非常に厳しい状況でありましたが、入居者・利用者の皆様が安心して生活していただけるよう取り組んでまいりました。特に 地域貢献事業に関しては、地域に出向くことを心がけ、積極的に取り組みました。

今後も、地域の皆様に必要とされる社会福祉法人・介護保険施設となるよう努力していく所存であります。

B 共通事項

(1) 地域交流（地域貢献）の推進を図る

地域との交流を図り、ニーズの把握に努め、社会福祉法人として求められる地域貢献事業を進められるよう取り組みました。毎週月曜日に栗ヶ谷地域で開催している「いこいのサロン」に支援事業所の職員が月2回参加して、相談等ニーズに把握に努めました。

橋本公民館において介護料理教室を2回開催し、好評でした。出前講座として、福寿会（八幡市ひとり暮らし老人会）と八幡市社会福祉協議会より依頼を受け、福寿会では「健康教室」、八幡市社会福祉協議会及び八寿園が実施している地域支援事業の「はつらつ健康教室」において、口腔ケア講座を3回開催しました。

(2) 市の予防給付（通所介護等）を地域支援事業として円滑に取り組めるよう努める。

今年度より3年間の経過措置がありますが通所介護・訪問介護事業が市町村事業に移行しました。平成29年度からの実施に向けて、八幡市が主催する、移行に係る準備会議も始まりました。事業が円滑に実施できるように八幡市と連携し、それぞれの地域に合った事業となるように継続して協議を重ねていきます。

(3) 経営の透明性を高めるため情報公開をより積極的に進める

日頃の活動や経営状況については「八勝館だより」・ホームページや全国経営協等にネットで公表しています。また、財務等の現況報告書に関しては八幡市に報告しています。当法人を地域の皆様に実際に見ていただき、様々な取り組み等を知っていただくため11月7日に施設見学会を開催しました。ホームページではお知らせの更新を適宜適切に行ない、施設行事など施設を一層知ってもらえるように活用をしていきます。

(4) 引き続き施設整備等の中長期計画を作成する

入居者・利用者の皆様へのサービス向上を目的に、トイレにウォシュレットを5台設置しました。エレベータ改修や冷暖房・空調については業者のアドバイスにより方向性が見えてきましたので、今後改修工事の具体化に向けて前倒しで検討を進めます。また、介護報酬改定に伴い収入状況を見ながら進めたこと等もあり、特養一般浴室と調理室の空調の改修を見送りました。

(5) 科学的介護の充実を図る

今年度の目標である特養の「科学的介護」の実施に向けて、「科学的介護」とは一体どんな介護なのか協議を重ねてきました。介護職を中心に施設内の多職種が連携し、食や排泄の自立に取り組む姿勢と具体的な方法論とスキルを持って「精神論的ケアでは

なく根拠あるケア、誰がやっても同じ結果を出せる標準化されたケア」それが、当法人がめざす科学的介護であると考えました。

根拠に基づいたケアの実施に向けて、医療に関しては、嘱託医、看護師と連携しながら検査結果などの根拠を基に、又、介護に関しては、日常生活における各種データ（排泄、水分、食事摂取）を個別に読み解き、水分摂取、低栄養予防・改善、排泄の自立、歩行や趣味活動などの活動支援まで一連の流れとして、入居者一人ひとりにあった「個別」（オーダーメイド）の自立支援を実践に向けて取り組みました。

（６）プライバシーに配慮した居室のあり方を検討する

特別養護老人ホーム等における多床室のプライバシー保護及び適切な居住環境の整備を目的とする改修工事については、補助金を活用し平成２８年度に実施できるように検討してまいりましたが、補助金の要件を満たした改修工事の実施は、面積が狭小なため 困難と判断しました。しかし、入居者の皆様が快適に生活していただくために、居室の改修工事は必要ですので、今後も引き続き検討していきます。

（７）介護人材の確保と育成を図る

新規採用職員の研修として、法人職員としての心構え、介護サービスに関する知識、事業所・職種の役割等について研修計画に基づいて４名の新任職員に対して研修を実施しました。事業所内では育成担当者を決め、新任職員をサポートできる体制を整えるなど内部研修の充実に努めました。

その他、入居者・利用者のケアや専門職としての必要な知識やスキルアップを図るために外部研修への参加、外部講師による虐待等の研修も実施しました。

また、現場で使える実践的なコミュニケーション力や人間関係力を育成するために、全職員を対象に職場環境改善研修を実施しました。本研修は平成２７年度きょうと福祉

人材育成認証制度福祉人材処遇改善・スキルアップ等支援事業の京都府補助金を活用し、全職員を5グループに分け、1グループ3回、計15回の研修と3回の役職員研修を実施しました。研修を通し、職員のモチベーションの向上や働きやすい職場環境を整えることで、職員の定着に繋がるように取り組みました。

施設内では、産業医による講話や応募形式の事例研究発表会も実施しました。

(8) 災害対策に取り組むとともに、危機管理能力の向上に努める

消防避難訓練を12月4日(消防署立会)、3月18日(夜間想定)の2回実施しました。自動火災報知設備については、消防法改正に伴う119番通報連動工事を実施しました。停電時に使用する非常用携帯発電機の使用訓練を事業所毎に実施し、誰でも操作できるように努めました。

災害備品については、簡易トイレ処理セット(400回分)を購入しました。送迎中の事故防止のため、車輛(3台)にセンサーを取り付けました。ショートステイのナースコールとPHS端末との連動工事を行ない利用者のコールに直ぐに対応出来るように改善しました。

災害時の備蓄食糧として、入所者・利用者の皆様に適した種類の食事形態で、それぞれ3日分を倉庫内に備蓄しています。更新については、賞味期限を記入した一覧表を作成し適切な時期に更新できるように努めました。

各委員会の担当者を主として、苦情処理対応、緊急時対応、事故防止・事故発生時対応、感染症対策等の各種マニュアルの見直しを行いました。感染症対策については、ノロ発生を想定して、処理に必要な物品を揃え、会議の時間に動画を見て嘔吐物処理のデモンステレーションを行いました。マニュアルの見直しについては、産業医に意見をいただきました。

(9) 安定した収入の確保（稼働率の向上）と経費の削減に努める

消費電力と経費の削減を目的に照明器具を LED に交換する工事を実施しました。この工事は、京都府のCO₂削減補助金の交付決定を受けて実施したものであります。

当施設をアピールするための取り組みとして、デイサービスのPRの為、正門横にデイサービスを紹介する看板を設置するとともにチラシを八幡市の橋本地区、男山長沢地区に全戸配布しました。

また、多様なニーズに対応し、安定した稼働と省力化を目指すため、適切な介護機器を導入することを目的に京都府派遣の専門アドバイザーから指導を受けるとともに、業者による階段昇降機の実演も行い情報収集に努めました。

ショートステイでの食事を家庭と同じ雰囲気ですべていただけるように、温冷カートを購入して給食スタイルのトレイからお盆に変更しました。

(10) 介護サービス第三者評価の受診

法人全体の介護サービスの質の向上・改善を図ることを目的に、平成28年1月21日に介護サービス第三者評価を受診しました。調査機関は一般社団法人京都市老人福祉施設協議会で、その結果は「京都 介護・福祉サービス第三者評価等支援機構」のホームページで公表されます。

役員会等の状況

① 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成27年5月25日	13名 (監事2名)	① 平成26年度 事業報告(案)について ② 平成26年度 収支決算(案)について
平成27年11月16日	15名 (監事1名)	① 特定個人情報等取扱規程(案)の制定について ② 就業規則の一部改正(案)について ③ 嘱託および臨時職員就業規則の一部改正(案)について 報告事項 平成27年度事業進捗状況について
平成28年3月24日	13名 (監事2名)	① 平成27年度移行時特別積立金取崩(案)の変更について ② 平成27年度収支予算補正(案)について ③ 平成28年度事業計画(案)について ④ 給与・退職金規程の一部改正(案)について

② 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成27年5月25日	6名 (監事2名)	① 平成26年度 事業報告(案)について ② 平成26年度 収支決算(案)について ③ 平成27年度の昇給率及び賞与支給月数について
平成27年11月16日	7名 (監事1名)	① 特定個人情報等取扱規程(案)の制定について ② 就業規則の一部改正(案)について ③ 嘱託および臨時職員就業規則の一部改正(案)について 報告事項 平成27年度事業進捗状況について

平成 28 年 3 月 24 日	5 名 (監事 2 名)	① 平成 27 年度移行時特別積立金取崩（案）の変更について ② 平成 27 年度収支予算補正（案）について ③ 平成 28 年度事業計画（案）について ④ 給与・退職金規程の一部改正（案）について
------------------	-----------------	--

③ 監事監査の実施状況

平成 27 年 5 月 11 日、監事 2 名による監査を実施していただきました。

その結果、事業報告書等は、関連する法令及び通知に従い、当会の事業の執行状況を正しく示し、適切に処理されていると認めていただきました。

その他の状況

① 衛生教育について

年 月 日	参加人数	内容
平成 27 年 8 月 19 日	33 名	足のトラブル
平成 28 年 2 月 17 日	29 名	肩こり・腰痛について

② 施設内研修について

年 月 日	参加人数	内容
平成 28 年 2 月 12 日	39 名	事例を交えた介護現場における拘束・虐待について
平成 28 年 2 月 24 日	40 名	事例研究発表会

③ 職員健康診断

年 月 日	検診内容	受診者数
平成 27 年 11 月 16 日～11 月 20 日	職員インフルエンザ予防接種	62 名
平成 27 年 10 月 21 日	職員健康診断（腰痛検診含む） ※当日未受診者は、医療機関にて実施	52 名
平成 28 年 3 月 7 日～3 月 11 日	職員健康診断（夜勤業務実施者）	26 名
平成 28 年 3 月 11 日	腰痛検診	34 名

④ 消防訓練の実施状況

年 月 日	時 間	備 考
平成 27 年 12 月 4 日	午後 3 時～	昼間訓練（消防署立会い）
平成 28 年 3 月 18 日	午後 3 時～	夜間訓練（想定で実施）

⑤ 研修（実習）受入状況

平成 27 年度の介護福祉士実習として、京都八幡高校介護福祉科（1～3年生の計 6 名）、京都医療福祉専門学校（1 名）、社会福祉施設体験学習（中学生 2 名）、職場体験学習として男山第 2 中学校（2 名）の実習を受け入れました。

各事業所の事業報告

施設サービス事業所

特別養護老人ホーム

介護部門

（1）個別ケアに向けた排泄介助

排泄研究班が中心となり、排泄状況の把握、分析を行うために排泄記録の見直しや入居者一人ひとりの状態に応じたオムツ等の使用や適切な誘導時間についてケース会議及び介護室会議にて検討し、個人に合わせた排泄介助を目指して取り組みました。

（2）入居者及びご家族の意向・要望、苦情の対応

意向・要望・苦情については、日頃より迅速に対応することを心がけ、入居者に快く安心して生活していただけるよう問題解決に努めました。また、入居者満足度調査を実施し、職員が意向・要望・苦情に対し情報共有し、できる限り迅速に対応することで、より良いサービスを提供できるよう努めました。

（3）新人育成について

育成担当職員及び役職員が新人研修計画に基づいて研修やマンツーマンの指導を行いました。

看護部門

(1) 介護職員及び多職種との連携

介護職等と情報共有できるよう休憩時間の見直し、申し送りの充実を検討し業務改善を行い、入居者・利用者の体調管理や身体状況の把握し、早期発見、早期治療に努め、その結果、入院者の減少つながりました。

(2) 感染症の予防

結核については、入居者全員に対し胸部レントゲン撮影、インフルエンザ予防については、入居者及び職員に対して予防接種を実施しました。(10Pの④に掲載)

また、感染症の疑いのある方については、早期受診や居室の移動などで二次感染予防に努めました。マニュアルに基づいた感染症対策を徹底し、入居者がインフルエンザやノロウイルス等の重度な感染症を発生することはありませんでした。

(3) 褥瘡の予防

嘱託医、介護職員、管理栄養士等と連携を図り、栄養管理と時間ごとの体位交換を行い、褥瘡予防マットを使用しました。

また、毎月の委員会にて対象者の褥瘡について情報共有や勉強会を実施し、褥瘡予防に取り組みました。

特養入居者等の状況

① 退所状況

年 月 日 (現在)	死亡	解約の申出	合 計
平成 27 年 3 月 31 日	13人	4人	17人
平成 28 年 3 月 31 日	15人	2人	17人

② 要介護度の状況

(人)

年 月 日 (現在)	要介護度					平均要介護度
	1	2	3	4	5	
平成 27 年 3 月 31 日	1	14	12	17	26	3.76
平成 28 年 3 月 31 日	4	7	21	14	21	3.76

③ 利用実績

年 度	延入居者数	一日平均入居者数	備 考
26	24,479人	67.1人	稼働率 95.9%
27	24,391人	66.6人	稼働率 95.2%

④ 入居者検診状況 (人)

年 月 日	検診内容	受診者数
平成 27 年 10 月 6 日	胸部レントゲン撮影 在館 68 名	68 名
平成 27 年 11 月 6 日～ 平成 27 年 12 月 18 日	入居者インフルエンザ予防接種 ※入院中の入所者については、入院 先の病院で接種されています。	62 名

⑤ 行事等実施状況

開催日	行事名	開催日	行事名
8 月 6 日	夏祭り	10 月 18 日	運動会
9 月 4 日	花火大会	12 月 24 日	年忘れ会
10 月 4 日	敬老祝賀会	12 月 27 日	もちつき大会

(介護予防) 短期入所生活介護事業所[ショートステイ]

(1) 利用者への個別対応とレクリエーション及び軽度の機能訓練の実施

事業所独自の体操を考案し、日課として実施したほか、看護師と連携し歩行訓練を実施しました。レクリエーションについては、利用者の身体状況や興味に合わせておやつ作り等も実施しました。

(2) 新人育成

通常業務については、担当職員が新人研修計画に基づいて指導を行いました。

身体障害者短期入所生活介護事業所[身障ショートステイ]

利用者の状態を十分把握し、安全で快適な生活が送れるようケアに努めました。

身体障害福祉サービス短期入所支給決定者の 1 名の方が介護者の負担軽減を目的に毎月定期的に利用されました。

ショートステイ年間利用実績（短期入所・介護予防短期入所・身障短期入所）

年 度	年 間	月平均	一日平均	稼働率
26年度	4,472人	372.7人	12.25人	87.5%
27年度	4,495人	374.6人	12.28人	87.7%

調 理 室

入居者・利用者の皆様に安心して食事を食べていただくために「大量調理衛生マニュアル」に基づき、食品の管理及び厨房内の清掃など食中毒を発生させないように衛生管理を徹底しました。

また、現入居者の身体状況等を鑑み、これまでの介護食中心の食事からイベント性のある食事の提供へと変更しました。

(1) イベント食の実施

四季の松花堂弁当、バイキング、てんぷら、寿司、サンドイッチや五感で感じる料理として入居者の目の前でステーキを焼き提供しました。

(2) 見た目に美しい料理の提供

野菜等が加熱しても彩が失われないよう工夫し提供できました

(3) 地域貢献の取り組み

① 料理教室の開催

地域の住民の方を対象に季節に応じたメニューで料理教室を2回開催しました。

夏：三色冷やし鉢、鮭と新生姜のちらし寿司、はもと三つ葉のすまし汁

冬：鯛の煮付け、簡単煮しめ、千枚漬け、むかごご飯

② はつらつ健康教室への参加

支援センターにて実施している、はつらつ健康教室の参加者向けに「骨粗鬆症について」、「サプリメントについて」の話をしました。

(予防) 通所介護事業所[デイサービス]

27年度も引き続き歩行訓練の強化及び口腔ケアの維持・レクの充実を重点に取り組みました。歩行訓練については、室内での平行棒、階段昇降、屋外での歩行と利用者の歩行レベルにあわせた内容で行い、機能訓練を兼ねて近隣公園へ出かける機会を増やしました。口腔ケアについては、昼食前のDVDによる口腔体操の継続と歯科衛生士の資格を持つ職員の指導を受け、食後の歯磨き（ブラッシング）を実施しました。

また、レクレーションの充実については、集団での合唱や壁画、カレンダー作成、小集団レクとして小物作り、おやつ作りを実施し利用者の積極的な参加が見られました。

新規利用者の獲得に向けて、事業所の取組や活動を広報するため、チラシの配布と無料体験利用の実施を継続しました。

認知症ケアについては、認知症ケア専門士の資格取得や認知症実践者研修等へ参加し知識の習得・スキルアップに努めました。

利用実績

(人)

年 度	要介護 1~5	要支援 1, 2	一日平均	備 考
26年度	4,936人	405人	17.3人	
27年度	4,987人	334人	17.1人	

外出行事の状況

実 施 日	目 的	行 き 先	参加人数
4月2日~3日	花見外出（桜）	ひがしはら北公園	45人
6月8日~12日	花見外出（菖蒲）	枚方市民の森	40人
11月2日~27日	紅葉外出	石清水八幡宮	46人

在宅介護支援センター事業報告

地域の方々に京都八勝館を周知していただけるように積極的に地域へ出向きました。

地域で開催されている「いこいのサロン」に参加し、地域住民の方々や学区福祉委員・民生児童委員との交流を図り、地域のニーズの把握等に努めました。相談については、情報提供及び必要に応じて関係機関と連携し、介護、福祉サービスへつなぐことができました。

また、調理室が開催した介護料理教室に協力し、介護相談や情報提供を行いました。

八幡市の委託事業である「はつらつ健康教室」においては、管理栄養士による栄養指導や歯科衛生士による口腔ケア講座を実施し、他職種と連携することで参加者の健康啓発に取り組むことができました。

また、依頼により八幡市社会福祉協議会が開催する地域支援事業において歯科衛生士として「口腔ケア講座」を行いました。

八幡市からの委託業務の実施状況は下記の通りです

(1) 相談業務実施状況

年 度	年 間	月平均	備考
26年度	69件	5.75件	
27年度	74件	6.16件	

(2) 高齢者の実態把握等実施状況

(件)

年 度	実態把握件数	福祉用具購入支援数	住宅改修支援数
26年度	18件	9件	20件
27年度	10件	1件	8件

(3) 配食サービスの実施状況

年 度	人 数	延べ食数
26年度	201人	3,258食
27年度	229人	3,622食

(4) 介護予防事業開催状況

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
26年度	24回	323人	13.4人
27年度	24回	325人	13.6人

居宅介護支援事業所事業報告

新規プランについては、家族等からの依頼や病院・地域包括支援センターからの紹介をすべて受け入れました。他事業所、他職種と連携し利用者にとって適切なサービスの調整を行うことが出来ました。

専門研修及び八幡市老人福祉施設連絡協議会の開催する研修会に積極的に参加し、情報の収集や自己研鑽に努めました。

在宅介護支援センターから地域との関わりを継続したことで本人、家族の状況を把握することができており、必要性が生じた時は迅速に介護サービスにつなぐことができました。

ケアプラン作成、代行申請状況

年度	ケアプラン		代行申請		備 考
	件数	月平均	件数	月平均	
26年度	697	58.0	36	3.0	
27年度	672	56.0	26	2.1	更新、区分変更、新規申請

8 評議員・理事・監事等名簿

(平成28年3月31日現在)

役職名		氏名	就任年月日	任期
理事長	評議員・理事	小堀 重男	平成26年6月1日	平成28年5月31日
職務代理者	評議員・理事	田中 貞雄	〃	〃
職務代理者	評議員・理事	松崎 祥三	〃	〃
	評議員・理事	中西 久子	〃	〃
	評議員・理事	本郷 俊明	〃	〃
	評議員・理事	道本 俊規	〃	〃
施設長	評議員・理事	遠州 伸高	〃	〃
	評議員	田部 晴雄	〃	〃
	評議員	中川 晶勝	〃	〃
	評議員	寺村 紀子	〃	〃
	評議員	徳田 竹司	〃	〃
	評議員	柴田 耕次	〃	〃
	評議員	波田 容子	〃	〃
	評議員	藤作 実	〃	〃
	評議員	本田 みち代	〃	〃
	監事	北村 章	〃	〃
	監事	大高 俊生	平成26年11月21日	平成28年5月31日

苦情解決第三者委員	北村 郁子	
-----------	-------	--